

沿岸観察会 開催報告



開催日：2025 年 6 月 28 日

会 場：むつ市下北自然の家、ちどり浜

共 催：むつ市ジオパーク推進課、下北ジオパーク推進協議会

むつ研究所では、市民の海洋科学への理解増進を目的に、海浜生態調査の一環として下北沿岸域にて市民参加型の沿岸観察会を行っています。

今年は、むつ下北地域の小学校から 11 名の参加者がありました。
ちどり浜に出て、ちどり浜がどうやってできたかを調べたり、貝や海に住む生き物の観察をしました。参加してくださった皆さん、ありがとうございました。



講師：藤倉 克典（JAMSTEC 海洋生物環境影響研究センター）
山崎 友資（公益財団法人 東洋食品研究所）
遊佐 貴志（青森県産業技術センター 水産総合研究所）
朝日 啓泰（むつ市 ジオパーク推進課）



ちどり浜での観察

朝日先生の説明を聞いて、ちどり浜がどうやってできたかを調べました。

すごいねー！



へえ～
おもしろい！



次は貝や生き物の観察をしました。



色々な貝を見つけるぞ！



グループに分かれ、潮だまり（タイドプール）や磯を観察し、多くの種類の貝を見つけることを目指しました。 何と！むつ市の山本市長も参加してくださいました。

これ何だろ!?



見てください。
採れました
^o^



昼食

ちどり浜での観察をがんばった後は昼食の時間です。今回は、むつ市の山本市長が参加者と意見交換をしながら楽しい食事の時間を過ごしました。



サンプル処理

食事の後は採取した生物サンプルで、ちどり浜の生き物について調べます。前半は山崎先生に貝について教えていただきました。分類してみて貝にも色々な種類があることが分かりました。

そして、藤倉先生に教えていただき、貝から歯舌を取り出して顕微鏡で観察しました。ヒザラガイの歯舌は鉄を持っていて磁石にくっつきます。 なるほど！

貝を分類中



上手に取り出しました



後半には、まず朝日先生によるエムリバー体験が行われ、最後に遊佐先生による海藻類に付着生息する生き物（ベントス類）の分類や講義が行われました。



参加して下さったみなさん、
朝早くからお疲れ様でした。



問合せ

海洋研究開発機構むつ研究所 管理・研究支援課
電話：0175-45-1050 FAX：0175-45-1079

